



CONTENTS

全道一の稲刈始まる／JAたきかわ産米初検査／米の作況概要	2
JAたきかわ産米産地評価の向上・信頼に向け	2
主食用米出荷契約状況／施設操業状況(小麦、なたね、そば受入調整状況)	3
第16回JAたきかわまつり／第44回芦別農業まつり	4
資材推進のお礼とお願い／赤平地区農業基盤整備促進事業	5
コムギなまぐさ黒穂病対策について／農産物検査員の紹介	5
秋の廃プラ回収について／農作業事故に注意しましょう	5
平成29年適期収穫と乾燥のチェックポイント	6、7
平成29年水稻収穫後圃場管理のチェックポイント	8
各地区農作業風景PHOTO	9
共済部からのお知らせ(こども共済紹介)	10
金融部からのお知らせ(各種ローン紹介)	11
理事会だより／資材部からのお知らせ	12
米の炊き方ワンポイント／表紙写真のご紹介	12

組合員のかず

正組合員

1,002名

准組合員

4,048名

総計

5,050名

(7月末日現在)

全道一の稲刈り始まる

九月一日（金） 芦別市野花南町の中内 茂喜氏が全道で一番となる米の刈取り作業をしました。水稲作付面積は111aで品種は『ゆめぴりか』。



北海道における八月十五日現在の作柄は「平年並み」が見込まれます。

八月十五日現在の作柄は六月の低温・日照不足で経過したことから、穂数が「やや少ない」、全もみ数が「やや少ない」と見込まれるものの、七月中旬から下旬にかけて高温・多照で経過したこと及び全もみ数がやや少ないことから、登熟が「やや良」と見込んでいます。

地帯別では空知・道南を含む八地帯が「平年並み」、一地帯が「やや良」、二地帯が「やや不良」となっている。

平成二十九年六月末の民間在庫は204万トンと前年より22万トン減少する見通しとなっている。二十九年産米の生産量は自主的取組参考値と生産数量目標となり、大幅な消費の減退がなければ180〜182万トン程度になる見通しで適正在庫を下回ると見込まれますが、今後の消費動向や作柄等により変動も予想されます。

需給が改善基調に向かっていることから府県産相対価格が前年産より上昇傾向にあります。が、このような背景には、全国において生産数量目標が二年連続で達成されたことで、米の生産量が絞られ、三十年十月末の持越し在庫量が適正水準を大きく下回る見通しがされていることが要因となっています。また、府県では飼料用米の作付が増加したことにより、低価格帯銘柄が不足している事もあり、卸・実需側では価格が上昇した中間価格帯銘柄を使用するのではなく、低価格帯で取引されるSBS米（10万ト）へ依存する割合が高まれば、持越し在庫量が適正水準を大きく上回り米価への影響が懸念されます。

ホクレンにおいては今後の府県産価格や作柄により相対価格を勘案し決定される予定となります。

◎出荷契約数量は208,632俵、1俵でも多くの集荷に向け取り組みます

本年の出荷契約数量は、うるち米196,602俵、もち米12,030俵合わせて208,632俵の契約となりました。契約をいただきました生産者各位に対し心からお礼申し上げます。

今後、出荷増に向け推進を実施し一俵でも多く積上げるよう集荷に努めて参ります。

◎「JAたきかわ産米」産地評価の向上・信頼に向け

本年の米販売は、本年は播種米契約数量109,820俵を提案し、全て成約に至っており、ホクレン共計販売を中心に安定販売と固定ユーザー向けJA独自販売を引き続き実施し共計経費の削減と精算価格の上積みに向け販売に取り組んで参ります。販売促進に向け、卸・実需への訪問では、幅広い需要（特裁米、一般米、業務用米）に対応する安定生産・安定供給体制による販売量の確保が求められました。

米生産数量目標の配分が廃止となる平成三十年産以降においても、米価の安定を図っていく為、卸・実需へ安定した品質を供給することにより信頼される産地として、生産者とJAが一体となって集荷・販売を展開していくことが重要な年なので一俵でも多くの出荷をお願いいたします。

JAたきかわ産米初検査

九月六日（水） 芦別米検査場にて、二十九年産米の初検査が行われた。出荷者は九月一日に刈取りされた中内 茂喜氏。品種は『ゆめぴりか』、出荷数量は紙袋で57袋（28.5俵）品位格付は1等、タンパク値6.7という検査結果でした。



●主食用米作付面積及び出荷契約数量

単位：戸、a、俵

地区名	出荷契約に基づく内訳			品種内訳									うち水稲 種子面積
	契約戸数	面積	数量(俵)	ななつぼし	きらら397	ほしのゆめ	ゆめぴりか	ふっくりんこ	おぼろづき	ゆきひかり	きたくりん	その他	うるち・もち
滝川地区	77	81,207.80	52,145.0	32,500.0	580.0		17,697.0		214.0		784.0	370.0	
江部乙地区	115	110,670.89	53,859.0	28,336.0	2,215.0		19,209.0		743.0	438.0	1,678.0	1,240.0	19,910.00
赤平地区	58	37,154.80	29,832.0	8,901.0	103.0		19,918.0		235.0		675.0		
芦別地区	113	99,502.39	60,766.0	30,137.0	1,312.0	450.0	17,486.0	10,205.0	91.0	173.0	560.0	352.0	
うるち計	363	328,535.88	196,602.0	99,874.0	4,210.0	450.0	74,310.0	10,205.0	1,283.0	611.0	3,697.0	1,962.0	19,910.00
地区名	契約戸数	面積	数量(俵)	はくちょうもち	風の子もち	きたゆきもち	きたふくもち						
芦別もち	14	15,328.90	12,030.0	6,805.0	3,869.0	922.0	434.0						2,450.00
もち計	14	15,328.90	12,030.0	6,805.0	3,869.0	922.0	434.0						2,450.00
合計	377	343,864.78	208,632										

施設操業状況

・秋小麦（きたほなみ） 七月十九日より受入を開始し、受入重量で約3,046トンの受入となりました。本年度は、なまぐさ黒穂病の発生と七月上旬から中旬にかけての高温障害により未熟粒の発生が多いことから製品歩留まりは約77%となっております。品質面では全量一等麦で製品数量は約2,286トンの調整となりました。

※調整は、生・半乾を本乾にした後に調整

・春小麦 八月四日より受入を開始し、ハルユタカで約228トンの受入、春よ恋で約244トンの受入となり、こちらも高温障害の影響で未熟粒の発生が多いことから製品歩留まりは、ハルユタカで約75%、春よ恋で約67%となっております。品質面では開口未熟が多いことから双方二等麦で製品数量はハルユタカで約161トン、春よ恋は約153トンで八月三十日をもって調整終了いたしました。

・菜種 七月二十七日より受入開始し約596トンを受入し315トンの調整を終了しております。調整作業は八月二日よりソバの受入をする為一時休止し、十一月より再開予定となっております。

・そば 八月二十七日より受入を開始しました。九月五日時点での受入重量は約196トンとなっております。そばの施設受入終了日については十月中旬を予定しております。詳しい日程は後日、販売施設課より連絡がありますのでご確認よろしくお願致します。

小麦各品種別受入重量

単位/ kg

品種/区分	生	半乾	本乾	品種合計
春よ恋	146,014	21,286	77,563	244,863
ハルユタカ	106,126	43,397	79,087	228,610
きたほなみ	1,872,142	79,087	1,095,006	3,046,235
区分合計	2,124,282	143,770	1,251,656	3,519,708



菜種受入重量

単位/ kg

区分	生	半乾	本乾	合計
計	375,659	14,403	206,688	596,750



第十六回 JAたきかわまつり

八月五日（土）第十六回JAたきかわ祭りが、本町レンガ倉庫特設会場にて開催されました。

当日は天候もよく絶好の祭り日和になりました。今年も、滝川東小学校合唱部による演奏、JA青年部によるゲーム大会、ダンスパフォーマンス、バンド等多彩なイベントを開催。青年部、女性部、Aコープ、空知土地改良区、販売部、金融部、共済部が出店をし、組合員や地域の住民など多くのお客様で賑わいました。青年部ではかき氷、焼き鳥、女性部ではフランクフルト、冷やしきゅうり、Aコープでは焼き物、飲み物などの販売、空知土地改良区では人形すくい、金融、共済部では各種キャンペーンなどのPR、販売部では各種農産物の販売を行いました。祭りの最後には大抽選会が行われ大変盛り上がりました。ご来場して頂いた方には感謝申し上げます。



青年部のイベント野菜重量当てゲーム



会場で賑わっている様子



オープニングセレモニーで挨拶する工藤組合長



農協スカパーライズオーケストラによるバンド演奏



青年部ステージイベント健康ぶら下がり器にぶらさがり一番長くぶら下がっていただけるか？

れ、こちらも長蛇の列ができ飛ぶように売られていきました。また、熊本県湯前町のブースがあり、特産物の葡萄が販売されておりました。二日間ともに最後のイベントとして抽選会があり大盛況となりました。ご来場して頂いた方には感謝申し上げます。



芦別産米「ふっくりんこ」無料配布に並ぶ長蛇の列



農産物販売の様子（メロン）



農産物販売の様子（南瓜）

八月十九日（土）、二十日（日）第四十四回芦別農業祭りがJAたきかわ芦別支店前の北大通りにて開催されました。昨年は大雨により二日目が中止になりましたが、今年は二日間ともに天候に恵まれ、無事に開催されました。イベントでは先着200名様までに芦別産米「ふっくりんこ」が無料配布され、長蛇の列ができ賑やかになっていました。販売部のブースでは、芦別産の南瓜、メロン、花、馬鈴薯など各種農産物が販売さ

第四十四回 芦別農業まつり

資材推進のお礼とお願い

七月十八日～二十一日、八月二日～四日にわたり、本年もそれぞれの地区で肥料の早取り注文を含む推進訪問を行いました。時節柄大変お忙しい中での訪問となりましたが、厚く御礼申し上げます。

なお、当JAでは本年、超早期・早期・重点・大口引取を実施致します。あわせて年内引取自己運搬料（七月～十二月）も実施致しますので、とりまとめ注文書のご提出と積極的な年内引取をお願い致します。

また、今後も継続的に推進訪問を実施する予定でおりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

赤平地区農業基盤整備促進事業

今年度暗渠排水整備506aを実施しており、現在198aの受益面積が工事完了している状況となっております。平成三十年度以降も組合員の要望に基づき実施計画を立てている所です。平成三十年から平成三十二年の期間で実施する計画を立てており、区画拡大で施工面積2,194a、暗渠排水で1,447a施工面積の要望がある状況です。

現在、平成三十年度の予算要求をしている段階ですが、予算要求が採択されれば、平成三十年度は区画拡大897a、暗渠排水1,025aの面積を実施する予定となっております。

「コムギなまぐさ黒穂病」対策について

秋播き小麦の播種も終盤にさしかかり、これ

からの「コムギなまぐさ黒穂病」対策として以下の対策を徹底して頂きますようよろしくお願ひ致します。

- 対策 チルト乳剤による茎葉散布小麦1～3葉期時期にチルト乳剤を雪腐病防除として茎葉散布することにより、発病を減少させる事が期待されます。
- ・使用回数については、根雪前2回以内となっております。
 - ・チルト乳剤の使用倍率は750倍、散布水量60～150リットルとなっております。

農産物検査員の紹介

今年度から二名の農産物検査員が増員になり、計二十九名で各種農産物の検査を致しますのでよろしくお願ひ致します。

新たに増員となった二名をご紹介します。

販売部次長
兼販売施設課長
垣野 誠志



金融部貯金課
北西 亮介

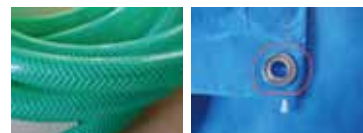


秋の廃プラ回収について

六月に廃プラ回収が終了しましたが、今回は秋の十一月月上旬に回収を予定しています。

廃プラ回収で回収出来るもの、回収出来ないものがありますので、確認の上お持ち頂きます様お願ひ致します。

- ※廃プラ回収出来ない物(例)
- ・クロスシートなどにハトメ金具がついているもの
 - （ハトメを外してあるものについては回収出来ます）
 - ・ゴム製品
 - ・ホース類
 - （糸が埋め込まれているもの）
 - ・鉄類



農作業事故に注意しましょう

これから水稲の収穫作業に入り、繁忙期を迎える事と思いますが、事故等に気を付けて作業にあたって下さい。コンバイン事故には三つの特徴があるので紹介いたします。

コンバイン事故の三つの特徴

- ①走行中(圃場・道)の転落、横転
 - ・バックする際や足下などの死角
 - ↓対策として、誘導者をつけることや道幅を示すポールの設置。
- ②整備中の事故
 - ・コンバインはカバーを外すと「回転物」が多い。
 - ↓対策として、整備する際には機会が動いてない事を確認してから整備にあたります。
- ③「手こぎ」での巻き込まれ事故
 - ・だびつく手袋の着用や無理な姿勢での手こぎ作業。
 - ↓対策として、自分の手にあったサイズの手袋の着用、稲束は押し出すように入れること。

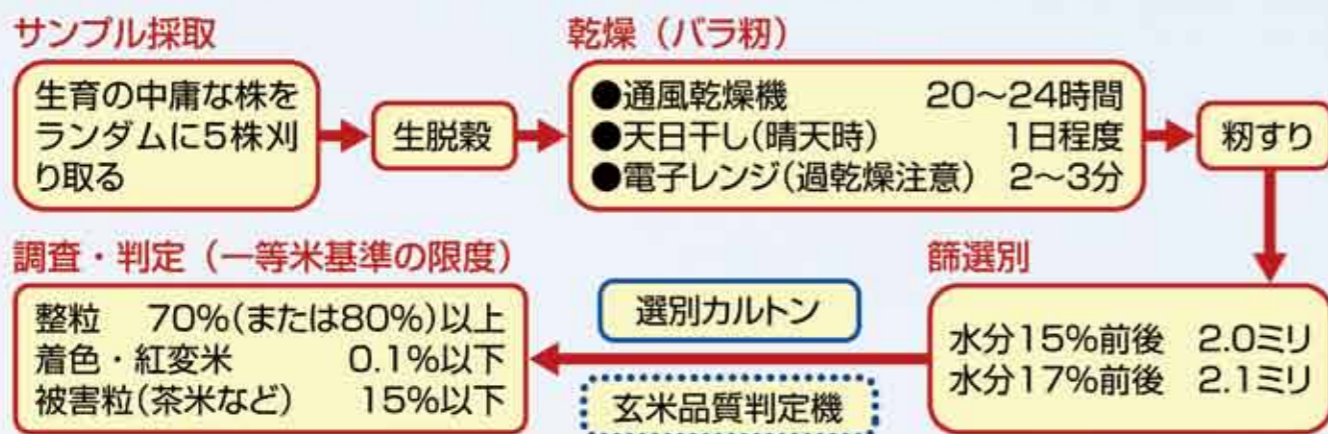
おいしさを保証するための 平成29年 適期収穫と乾燥のチェックポイント

溝切りなどにより、圃場の排水を優先して、圃場を乾燥させましょう！
 成熟期予測とこまめな試し刈りで適期収穫を!! 必ず試し刈りをして、玄米判定を行いましょう!

適期収穫のチェックポイント

- ◆積算気温による成熟期の予測
出穂期以降の毎日の平均気温の積算値が950℃に達する日が成熟期の目安です。
- ◆黄化籾割合による成熟期の目安
観察による黄化籾割合が90%になった日が成熟期です。
(予測した成熟期に近づいたら調査します)

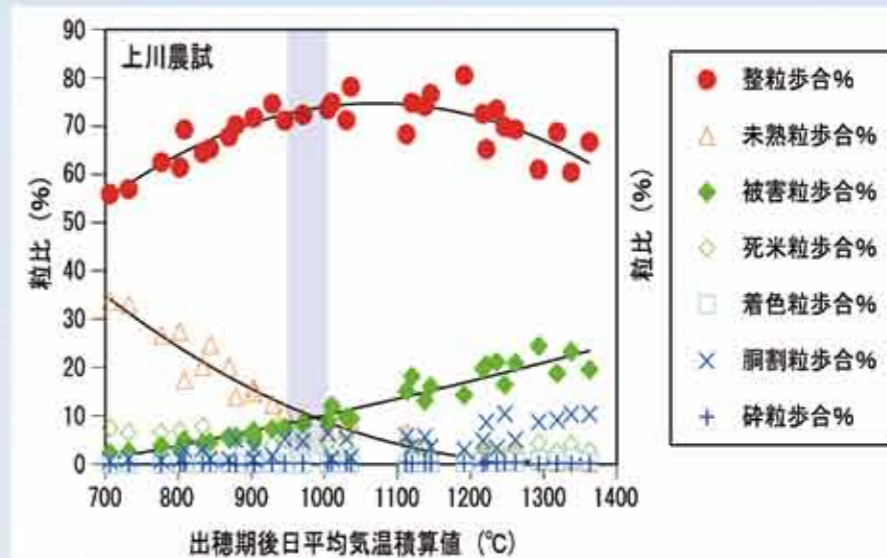
試し刈りによる収穫適期の判定手順



- JA・普及センターと相談して適期判定を行いましょう!
- 登熟ムラを想定し、試し刈りはこまめに行いましょう!
- 褐変穂・いもち病多発の稲は別刈りにしましょう!

「ゆめぴりか」の収穫適期

「ゆめぴりか」の収穫適期は950~1000℃が目安です。
 (「ゆめぴりか」栽培マニュアルより)



乾燥のチェックポイント

- ◆乾燥開始時は籾水分が高いため、高温乾燥を避けます。籾水分が25%以上では40℃以下で乾燥し、25%以下になってから通常の熱風温度とします。
- ◆胴割れを減らし、均一な玄米水分(14.5~15.0%)に仕上げるため、二段乾燥を行います。
- ◆過乾燥にならないように注意しましょう!



平成29年 水稲収穫後圃場管理のチェックポイント

- ・ 根雪前の圃場管理（ステップ1～3）で乾田化を徹底し、乾土効果を活用しましょう！
- ・ 来年に向けて、圃場整備と土壌診断（ステップ4・5）を実施しましょう！

ステップ1 稲わらの搬出

- ◆ 稲わらは貴重な資源です。搬出して堆肥や飼料などに有効活用しましょう！（写真下）
- ◆ 稲わらの野焼きは、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因になります。絶対に行わないようにしましょう！
- ◆ 稲わら搬出は、いもち病発生圃場では菌密度を低減できます。

ステップ3 心土破碎の施工

- ◆ 心土破碎は、「圃場が乾いている時にできるだけゆっくりと施工する」がコツです。



ステップ2 溝掘りで表面排水の促進

- ◆ 溝は落水口につなぎ、表面水を圃場外に流すことが重要です！
- ◆ 表面水の除去により、圃場の乾燥が早まります。



ステップ4 あぜの補修

- ◆ 冷害危険期に、最大20cmの深水管理ができるしっかりとした畦に補修しましょう！



ステップ5 土壌診断の活用

- ◆ 高品質米の安定生産には、施肥の適正化が必須です。
- ◆ 過剰施肥をなくし、肥料コストを削減しましょう！
- ◆ 土壌分析は3～4年毎に行いましょう！



稲わらの搬出

各地区農作業風景

滝川地区



波多野 孝幸さん圃場 玉ねぎ収穫作業風景

滝川地区



福田 慎一さん圃場 そば収穫作業風景

赤平地区



中西 幸一さんハウス 花収穫作業風景

江部乙地区



小出 洋一さん圃場 小麦播種作業

芦別地区



六平 潔さん圃場 種子馬鈴薯収穫作業風景

江部乙地区



小森 正俊さん圃場 菜種収穫作業風景

学資の準備なら

NEW

JAのこども共済



学資応援隊

JAにおまかせ!



JAのこども共済がリニューアルしてパワーアップ!!



NEW

ご契約者さまの

年齢・健康状態にかかわらずご契約できます。

だから、おじいちゃん・おばあちゃんの契約もOK!

※共済掛金払込免除不担保特例ありの場合



できました!

12歳払込完了プラン

塾や部活でお金がかかる前に掛金負担をゼロに!

※ご選択いただけるプランは、お子さまのご加入年齢によって異なります。



学資金のお受け取りは、

中学・高校・大学プランの組合せて自由設定できます。

必要などきに、必要なだけ備えられる

※ご選択いただけるプランは、お子さまのご加入年齢によって異なります。

(ご契約前)こども共済 学資金型/0歳加入/22歳満期/12歳払込終了/18歳学資金支払開始/共済掛金払込免除不担保特例あり/主契約:共済金額200万円/特約:指定代理請求特約



プラス 医療共済とセットでご加入すればさらに大きな安心。入院、手術の医療保障が受けられます。

魅力的な給付率
(給付総額+払込共済掛金総額)

約109.2%

●共済掛金(年払い)の標準総額152,578円
●払込共済掛金総額1,830,936円
●給付総額2,000,000円
(平成29年4月現在)

※1 学資金・満期共済金のお受け取りの時期は、お子さまの誕生日ではありません。ご契約のお申込みの際は、お子さまの誕生日と契約日にご留意のうえ、学資金支払開始年齢「17歳」または「18歳」をお選びください。 ※2 「経過年数のとき」とは、所定の第1級後遺障害の状態・所定の重度養育介護状態のいずれかに該当する場合のことです。 ※3 給付率は、お子さまの契約日の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。 ●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは

本店 TEL 0125-22-3401

江部乙支店 TEL 0125-75-2221

赤平支店 TEL 0125-32-2007

芦別支店 TEL 0124-23-1111

理事会だより

第九回理事会

平成二十九年七月二十六日(水)

決議事項

- 一. 規程類の一部改正について
- 二. 資金の貸付について
- 三. 出資の減口について

協議事項

- 一. 平成二十九年産米の販売基本方針について

第十回理事会

平成二十九年八月十八日(金)

決議事項

- 一. 第二四半期末実績及び下期の取組について
- 二. 平成二十九年産米集荷方針並びに秋季地区別懇談会の実施について
- 三. JASTEMシステムに係る危機管理計画書の制定について
- 四. 資金の貸付について

協議事項

- 一. 第六次三方年計画の点検について
- 二. 第七次三方年計画(平成三十年～平成三十二年)の策定について



資材部からのお知らせです

秋の土曜日・日曜日・祝日営業のご案内



月	日	曜日	生産資材センター TEL (0125) 23-1333	赤平資材店 TEL (0125) 32-2007	芦別資材店 TEL (0125) 23-1111
9	17	日	休日	休日	休日
	18	月(敬老の日)	繁忙期営業 8:30～12:00	繁忙期営業 8:30～12:00	繁忙期営業 8:30～12:00
	19	火	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00
	20	水	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00
	21	木	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00
	22	金	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00	通常営業 8:30～17:00
	23	土(秋分の日)	繁忙期営業 8:30～12:00	繁忙期営業 8:30～12:00	繁忙期営業 8:30～12:00
	24	日	休日	休日	休日

新米をより美味しく

【美味しいご飯にする米のとき方】

- ① 米を入れた釜の中に水を勢いよく入れ、水圧を使い一気に水を流し込みます。軽く2～3回かき混ぜたら、水を捨てます。
- ② 念入りな水切りはせず、ざっと水がきれいなら、水を足さずに米を手で素早くかき回します。米同士の摩擦によってとぐようになります。目安は25回ほど回します。水を入れたままとぐと米同士の摩擦が起きにくくなります。
- ③ ①と②をもう一度繰り返します。
- ④ 次にすすぎです。釜に水を入れ、その後ザルなどに米を上げ、1分ほど水切りをします。この際、長く置きすぎると米が割れる原因になることがありますので注意してください。



今月号表紙写真のご紹介

- | | | |
|---------------|----|---------------------------------|
| 上段右 | 品種 | ななつばし (九月二日撮影) |
| 上段左 | 品種 | ゆめぴりか (九月二日撮影) |
| 下段右 | 品種 | 滝川地区 内野 淳志 さん
風の子もち (九月一日撮影) |
| 下段左 | 品種 | 芦別地区 大橋 茂 さん
ゆめぴりか (九月一日撮影) |
| 赤平地区 奥井 正勝 さん | | |
- ご協力頂きました生産者の皆様、ありがとうございました。